



夕暮れ時・夜間の交通死亡事故が多発しています

反射材の着用とライト上向きの活用を

市内では、今年に入って9件の交通死亡事故が発生しています。このうち、8件が夕暮れ時から夜間に起こりました。日没が早まる時期は、車や人影が見えにくくなり、交通事故が多くなります。歩行者・自転車・自動車のそれぞれが次のような対策を行い、交通事故を防止してください。

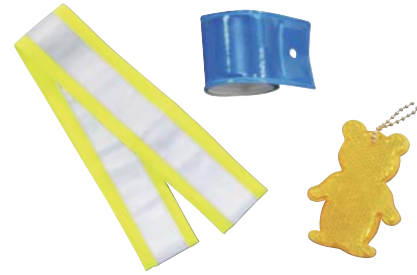
問い合わせは、地域交通課（☎321-1231）へ。
歩行者・自転車は明るい服装と反射材などの活用
 車を運転する人から、歩行者や自転車が見えにくくなります。車を運転する人に早く気付いてもらえるよ

- うにしてください。
- 明るく目立つ色の服装をする
 - 靴・服・かばん・杖などに反射材やライトをつける
 - 自転車のライトを早めに点灯する
- 自動車は早めのライト点灯とライト上向きの活用**
 歩行者や自転車を、早く発見できるようにしてください。
- 早めにライトを点灯する
 - 対向車・先行車の有無などの状況に応じて、こまめな上向きライト（ハイビーム）の切り替えを心がける

服の色と反射材の有無による見え方の違い



明るい色の服と反射材などを組み合わせ、車を運転する人からより見えやすく



反射材は見えやすい場所に

見え方の違いが動画でも見られます



昭和37年4月2日～54年4月1日生まれの男性が対象 風しん抗体検査と予防接種が無料で受けられます

市は、昭和37年4月2日～54年4月1日に生まれた男性を対象に、風しんの抗体検査の費用を助成しています。検査の結果、予防接種を受ける必要のある人には、接種費用の助成も行っています。

問い合わせは、保健予防課（☎381-6112）へ。
対象者にはクーポン券を発送

対象者には、指定の医療機関などで抗体検査を無料で受けられるクーポン券を、今年度から3年間で段階的に発送します。今年度のクーポン券は、昭和47年4月2日～54年4月1日生まれの男性に郵送しました。このクーポン券の利用期間は来年3月31日（火）まで、助成は1人1回です。昭和37年4月2日～47年4月1日生まれの男性が今年度中に助成を希望する場合は、申請が必要ですので、保健予防課

へ問い合わせてください。今後のクーポン券の発送時期などは、広報高崎や市ホームページでお知らせします。

検査が受けられる医療機関など詳しくは、クーポンに同封の案内か市ホームページで確認してください。予約の有無などは、医療機関に確認してください。

どうして予防接種が必要なの？

風しんは、感染者のせきなどで飛び散るウイルスを吸い込むとうつる、感染力の強い感染症です。大人が感染すると、まれに重症化することがあります。妊娠初期の女性が感染すると、生まれてくる子に難聴などの先天性の病気を引き起こす恐れがあります。感染を拡大させないために、一人一人が免疫を持つことが重要です。



189 (いちはやく)
 ちいさな命に
 待たなし

11月は児童虐待防止推進月間です

あなたからのその二報が、 子どもを虐待から守ります。

児童虐待に関する相談件数は年々増えています。昨年度の本県の相談件数は1374件で、5年前の約1.8倍です。虐待は家庭内で起こることが多いため、外から見えにくく、発見が遅れてしまうことがあります。親はしつけのもりでも、暴力や暴言は子どものための正しいしつけではありません。

虐待かも、と感じたらお電話ください。
 連絡した人のプライバシーは守られます。

- こども救援センター (24時間 ☎321-1318)
- 西部児童相談所 (☎322-2498)
- 児童相談所全国共通ダイヤル (24時間 ☎189) いちはやく
 住んでいる地域の児童相談所につながります

オレンジリボンキャンペーン

市は、児童虐待防止推進月間にあわせ、高崎駅大型ビジョンでの映像放映などを通じて児童虐待防止を呼びかけます



オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています

あなたの電話が救いの手に
 市は、児童虐待についての連絡や相談を24時間受け付けています。虐待をいち早く発見するには、地域の皆さんの協力が必要です。家の中からひどい泣き声や怒鳴り声がある、不自然な傷や打撲の痕があるなど、虐待かもしれないと感じたら、迷わず上記の相談窓口ご連絡してください。問い合わせは、こども救援センター（☎321-1315）へ。

子育ての悩みなど、一人で抱え込まずに相談してください。

市役所4階に開設「こども救援センター」

10月に開設したこども救援センターは、虐待が疑われる家庭への働きかけはもちろん、保護者が抱えるさまざまな問題を聞き取り、教員や警察官のOB、社会福祉士などが適切な支援を実施。状況に応じて、市の子育てサービスの紹介なども行います。ちょっとしたことでも相談してください。電話相談は24時間受け付けています。



こども救援センター
 ☎321-1318

24時間 365日対応

- 子育てがづらい、イライラする、誰かに話を聞いてほしい
- 子どものしつけや接し方で困っている
- 家庭内で自分や子どもが暴力を受けている
- 近所から子どもの泣き声がする